感染症発生動向調査
2022年第20週
（5月16日～5月22日）

京都市感染症週報

京都市感染症情報センター
（ 京都市衛生環境研究所 ）

https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000175159.html

◆ 今週のコメント

- **新型コロナウイルス感染症**の報告が3,572例あり，本年の累積報告数は98,060例になりました。
  本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
  〇新型コロナウイルス感染症　最新の動向
  https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html
- **レジオネラ症**（肺炎型）の報告が2例（80歳代男性及び70歳代女性）（第19週追加報告分含む）あり，本年の累積報告数は11例となりました。
- **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**の報告が2例（50歳代男性及び60歳代女性）（第19週追加報告分含む）あり，本年の累積報告数は14例となりました。
- **侵襲性肺炎球菌感染症**の報告が2例（40歳代男性及び10歳未満女性）（第19週追加報告分含む）あり，本年の累積報告数は9例になりました。
- **水痘（入院例）**の報告が1例（20歳代男性）（第19週追加報告分）あり，症状は発熱，発疹です。本年初めての報告です。
- **梅毒**の報告が1例（40歳代男性）（第19週追加報告分）あり，本年の累積報告数は35例となりました。
  京都市では，HIV・性感染症（梅毒・淋菌・クラミジア）検査を予約制で実施しています。詳細については，下記のホームページをご覧ください。
  〇京都市情報館「京都市のHIV検査について」
  https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000271215.html
- **小児科定点把握感染症**は，京都市では前週までと大きな変化はなく発生数は低く推移しています。全国では感染性胃腸炎が増加傾向で，過去5年平均値程度の推移です。今後の流行動態に注意していく必要があります。

◆ 今週のトピックス：＜レジオネラ症＞

京都市では，第20週にレジオネラ症の報告が2例あり，累積報告数は11例となりました。昨年同時期の報告数は8例（年間報告数は19例）だったので，現在のところ昨年よりやや多く推移しています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- **二類：結核 2例（肺結核 なし，その他結核 1例，潜在性結核感染者 1例）うち喀痰塗抹陽性 なし**
  【1月以降の累積報告数 88例（肺結核 42例，その他結核 22例，潜在性結核感染者 24例）うち喀痰塗抹陽性 16例】
- **新型コロナウイルス感染症 3,572例【1月以降の累積報告数98,060例】**
- **四類：レジオネラ症 2例**【1月以降の累積報告数 11例】
- **五類：カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2例**【1月以降の累積報告数 14例】
- **五類：侵襲性肺炎球菌感染症 2例**【1月以降の累積報告数 9例】
- **五類：水痘（入院例） 1例**【1月以降の累積報告数 1例】
- **五類：梅毒 1例**【1月以降の累積報告数 35例】

定点把握の主な感染症

（市内定点数　インフルエンザ定点69，小児科定点43，眼科定点10，基幹定点1）

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ	インフルエンザ	0	0
小児科 （降順5位まで）	①　感染性胃腸炎	3．86	166
	②　A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0．23	10
	③　RSウイルス感染症	0．21	9
	④　咽頭結膜熱	0．16	7
	⑤　突発性発しん	0．14	6
眼科	流行性角結膜炎	0．10	1

【次ページ以降の主な内容】

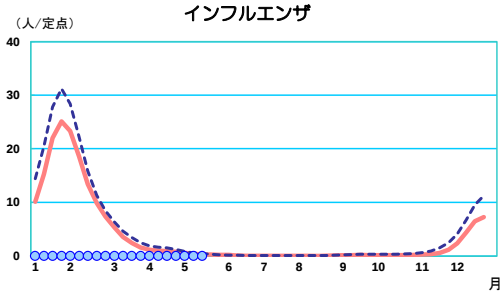
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス：＜レジオネラ症＞
付表（疾病，行政区別報告数 / 年齢階級，疾病別報告数 / 週，疾病別報告数）

（ 注 ）京都市のデータは，2022年5月25日現在の報告数で，全国の還元データと若干異なる場合があります。
また，本情報での患者数は，届出医療機関所在地での集計で，患者の住所を示すものではありません。
※ 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

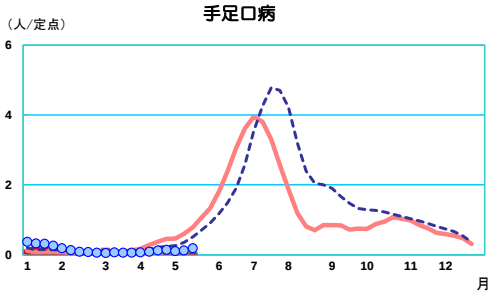
ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2022年）

京都市_本年　京都市_過去5年平均値
全国_本年　全国_過去5年平均値

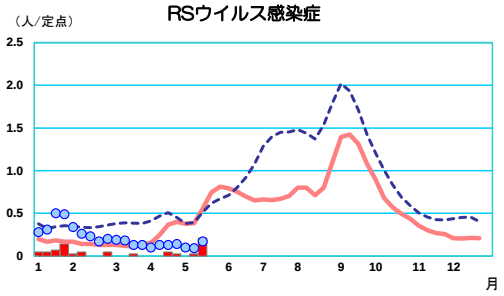
インフルエンザ



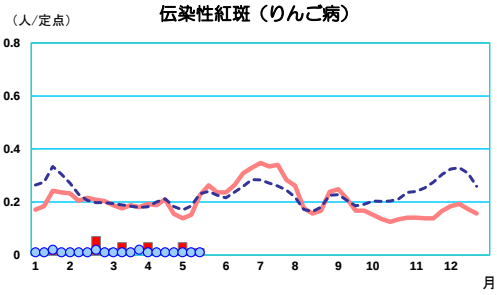
手足口病



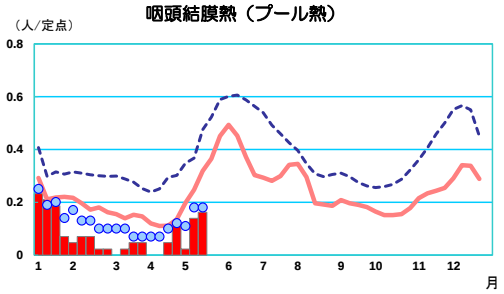
RSウイルス感染症



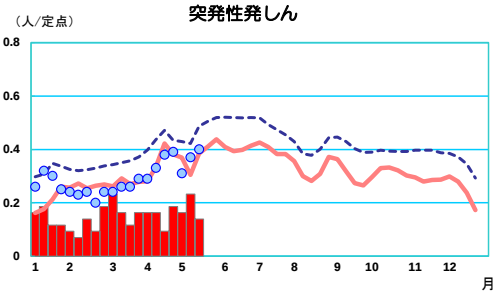
伝染性紅斑（りんご病）



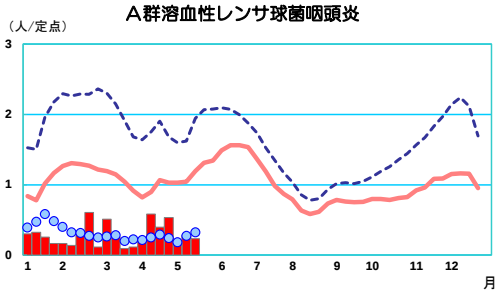
咽頭結膜熱（プール熱）



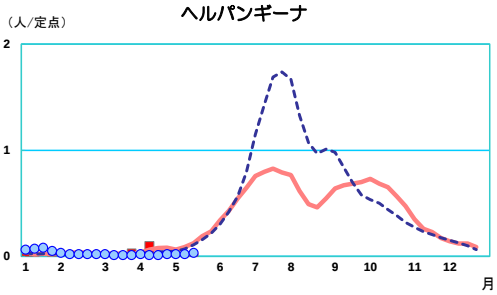
突発性発しん



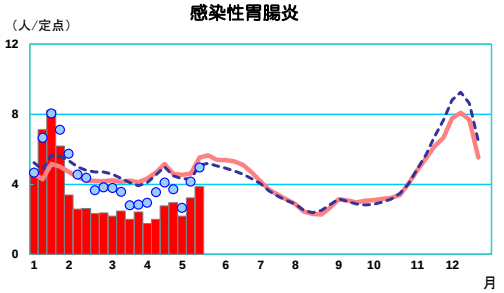
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



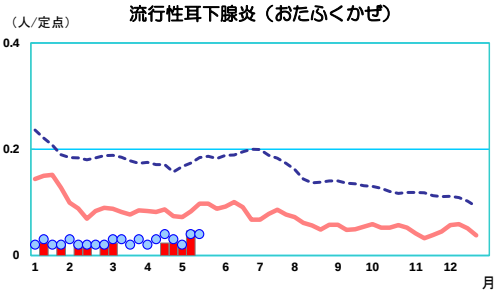
ヘルパンギーナ



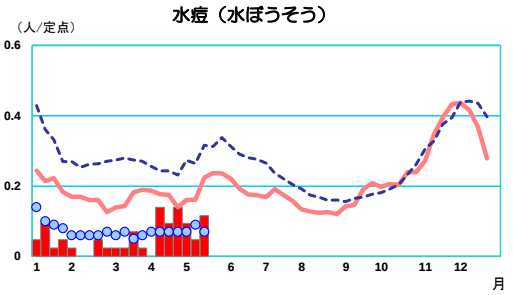
感染性胃腸炎



流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）



水痘（水ぼうそう）

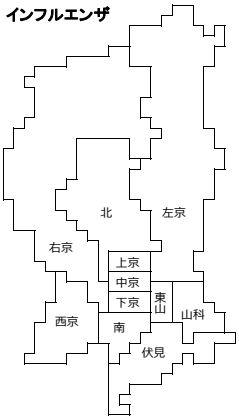


インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図　【２０２２年 第 20 週】

発生なし
発生あり
注意報
警報
（注意報及び警報の基準値は感染症右側に表示（「-」は設定なし））

定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
したがいまして，定点当たり報告数は医療機関の立地条件や
規模の大小の影響を受ける場合がありますので，ご注意ください。

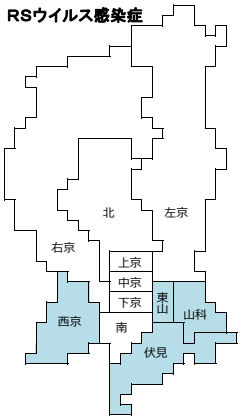
インフルエンザ



警報開始 30
警報終息 10
注意報 10

京都市 0.00	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

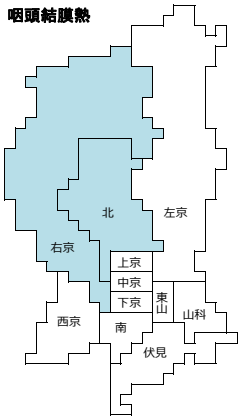
RSウイルス感染症



警報開始 -
警報終息 -
注意報 -

京都市 0.21	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0.50
山科	0.40
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0.71
西京	0.20

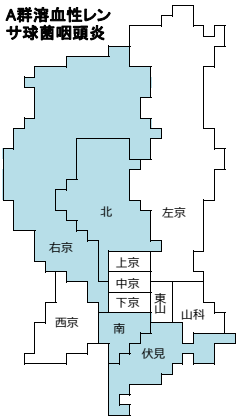
咽頭結膜熱



警報開始 3
警報終息 1
注意報 -

京都市 0.16	
北	0.25
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	1.20
伏見	0
西京	0

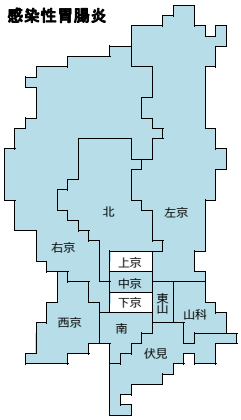
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



警報開始 8
警報終息 4
注意報 -

京都市 0.23	
北	0.25
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0.33
右京	1.00
伏見	0.43
西京	0

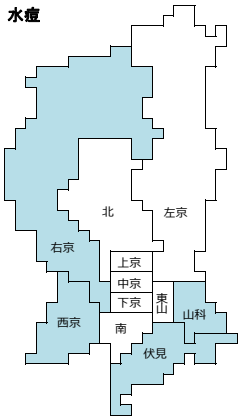
感染性胃腸炎



警報開始 20
警報終息 12
注意報 -

京都市 3.86	
北	0.50
上京	0
左京	3.75
中京	2.00
東山	1.00
山科	5.20
下京	0
南	2.33
右京	4.00
伏見	5.71
西京	9.60

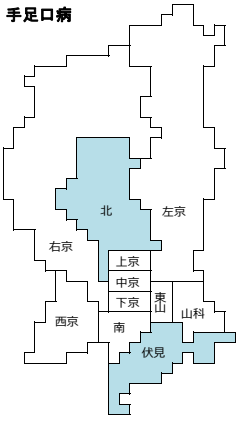
水痘



警報開始 2
警報終息 1
注意報 1

京都市 0.12	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0.20
下京	0
南	0
右京	0.40
伏見	0.14
西京	0.20

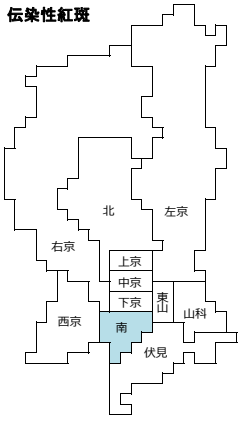
手足口病



警報開始 5
警報終息 2
注意報 -

京都市 0.07	
北	0.25
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0.29
西京	0

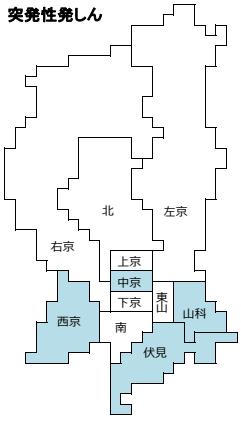
伝染性紅斑



警報開始 2
警報終息 1
注意報 -

京都市 0.02	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0.33
右京	0
伏見	0
西京	0

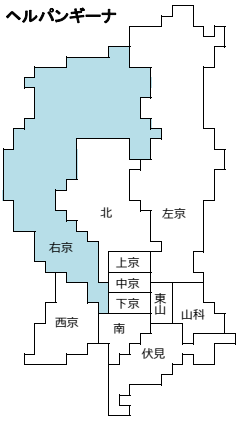
突発性発しん



警報開始 -
警報終息 -
注意報 -

京都市 0.14	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0.33
東山	0
山科	0.60
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0.14
西京	0.20

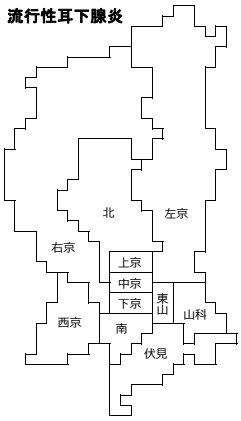
ヘルパンギーナ



警報開始 6
警報終息 2
注意報 -

京都市 0.02	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0.20
伏見	0
西京	0

流行性耳下腺炎



警報開始 6
警報終息 2
注意報 3

京都市 0.00	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

第20週（5月16日～5月22日）トピックス：＜レジオネラ症＞

京都市では，第20週にレジオネラ症の報告が2例あり，累積報告数は11例となりました。昨年同時期の報告数は8例（年間報告数は19例）だったので，現在のところ昨年よりやや多く推移しています。

2001年以降の京都市におけるレジオネラ症の年間報告数は年ごとの差が大きい状況ではありますが，おおまかにみると2019年までは増加傾向で，その後減少していると言えます。全国では第20週までの累積報告数は462例でした。昨年2021年の年間報告数は2,131例で，最も多かった2019年の2,316例に比べるとやや減少しましたが，長期的にはおおむね増加傾向にあります（図1）。

過去10年間の性別・年齢階級別発生動向をみると，年ごとで構成に大きな変化は見られません。男女比は，男性がほぼ8割，女性がほぼ2割で男性が圧倒的に多くなっています。内訳を年齢階級別にみると，男性では50歳未満は1割に満たず，50歳以上が大部分を占めます。50代で15％程度，60代で30％弱，70歳以上で30～40％と，年齢が高いほど報告も多くなっています。女性では70歳未満が5％程度，70歳以上で15％前後で，女性でも高齢者で多くの報告があります。本年は第20週現在，例年に比べて70歳以上男性が特に多い傾向があります（図2）。

レジオネラ症の感染経路は，大きく分けて二つあり，一つは浴場等の水系，もう一つは土木作業や庭いじり等による塵埃（じんあい：ちり・ほこり）とされています。

原因菌であるレジオネラ属菌は，本来土壌などに生息する常在菌ですが，エアロゾルを発生させる人工環境（噴水等の水景施設，ビル屋上に立つ冷却塔，ジャグジー，加湿器等）や循環風呂などが適切に維持管理されていない場合に感染源となる恐れがあります。病原体に曝露されても必ずしも発症するわけではありませんが，高齢者，新生児及び免疫の低下している人は注意が必要です。

感染予防対策としては，浴場等における配管・タンク内部の「ぬめり」の定期的な清掃・消毒や，土木作業・土いじりの際には，ちりやほこりを吸い込まないようにマスクを着用することが重要となります。

図１　京都市及び全国の報告数の推移（2001年～2022年第20週）

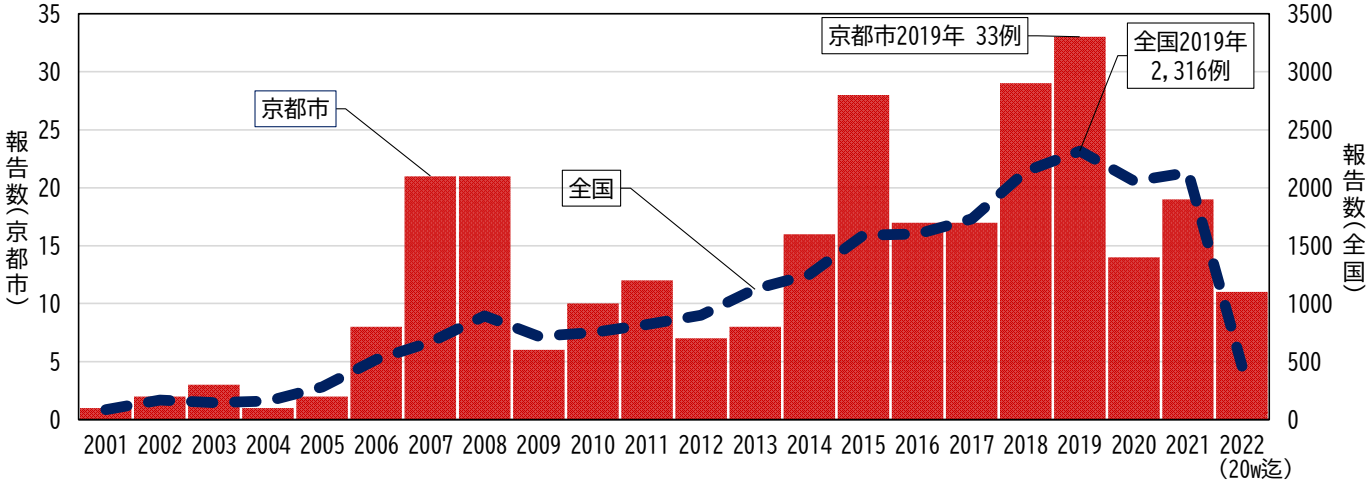
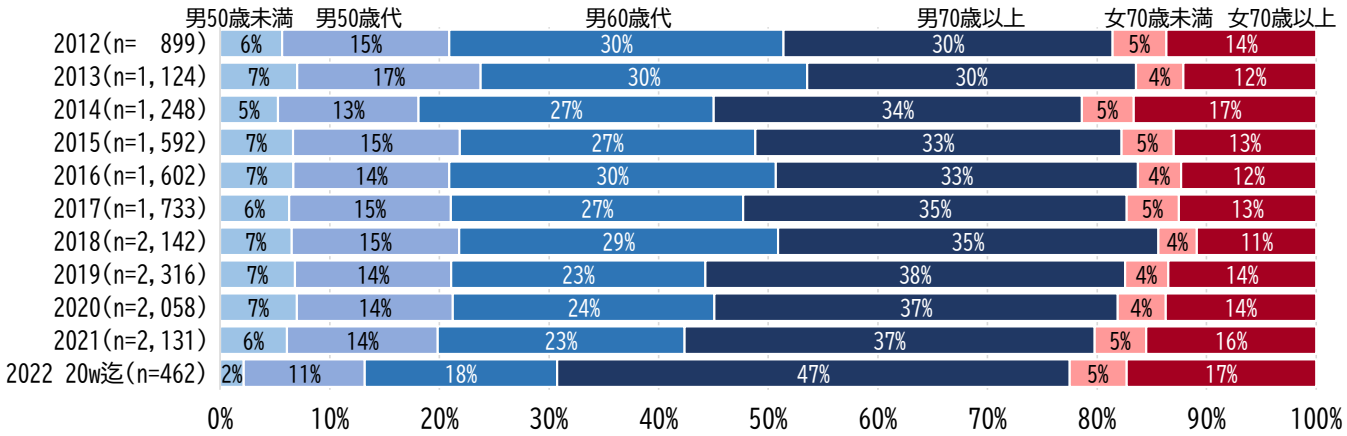


図２　全国の性別・年齢階級別割合（2012年～2022年第20週）



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第20週

疾病,行政区別報告数　　2022年5月16日～2022年5月22日　　データ入手日:2022年5月25日

男女合計	インフルエンザ（※1）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
北	－	－	1	1	2	－	1	－	－	－	－	－	－					
上京	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－					
左京	－	－	－	－	15	－	－	－	－	－	－	－	－					
中京	－	－	－	－	6	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
東山	－	1	－	－	2	－	－	－	－	－	－							
山科	－	2	－	－	26	1	－	－	3	－	－	－	－					
下京	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－							
南	－	－	－	1	7	－	－	1	－	－	－							
右京	－	－	6	5	20	2	－	－	－	1	－	－	1					
伏見	－	5	－	3	40	1	2	－	1	－	－	－	－					
西京	－	1	－	－	48	1	－	－	1	－	－	－	－					
京都市計	－	9	7	10	166	5	3	1	6	1	－	－	1	－	－	－	－	－

疾病,行政区別定点当たり報告数

男女合計	インフルエンザ（※1）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
北	－	－	0.25	0.25	0.50	－	0.25	－	－	－	－	－	－					
上京	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－					
左京	－	－	－	－	3.75	－	－	－	－	－	－	－	－					
中京	－	－	－	－	2.00	－	－	－	0.33	－	－	－	－	－	－	－	－	－
東山	－	0.50	－	－	1.00	－	－	－	－	－	－							
山科	－	0.40	－	－	5.20	0.20	－	－	0.60	－	－	－	－					
下京	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－							
南	－	－	－	0.33	2.33	－	－	0.33	－	－	－							
右京	－	－	1.20	1.00	4.00	0.40	－	－	－	0.20	－	－	1.00					
伏見	－	0.71	－	0.43	5.71	0.14	0.29	－	0.14	－	－	－	－					
西京	－	0.20	－	－	9.60	0.20	－	－	0.20	－	－	－	－					
京都市計	－	0.21	0.16	0.23	3.86	0.12	0.07	0.02	0.14	0.02	－	－	0.10	－	－	－	－	－

※1　インフルエンザは，鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが，新型インフルエンザのうち，A/H1N1については含む。
※2　細菌性髄膜炎は髄膜炎菌，肺炎球菌，インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
※3　クラミジア肺炎はオウム病を除く。
※4　感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京 都 市 感 染 症 発 生 動 向 調 査 情 報

集計対象:2022年第20週

年齢階級, 疾病別報告数

2022年5月16日～2022年5月22日

データ入手日:2022年5月25日

京都市 男女合計	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 0歳	～11ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 1歳-	1歳 1歳 1歳 5歳-	2歳 2歳 2歳 10歳-	3歳 3歳 3歳 15歳-	4歳 4歳 4歳 20歳-	5歳 5歳 5歳 25歳-	6歳 6歳 6歳 30歳-	7歳 7歳 7歳 35歳-	8歳 8歳 8歳 40歳-	9歳 9歳 9歳 45歳-	10歳- 10歳- 10歳- 50歳-	15歳- 15歳- 15歳- 55歳-	20歳- 20歳- 20歳以上 60歳-	30歳- 30歳- 65歳-	40歳- 40歳- 70歳以上	50歳- 50歳-	60歳- 60歳-	70歳- 70歳以上	80歳以上
インフルエンザ (※1)	年齢1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症	年齢3	9	1	1	7	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
咽 頭 結 膜 熱		7	－	1	3	2	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		10	－	2	－	－	3	1	1	－	1	－	1	1	－	－						
感染性胃腸炎		166	2	13	32	13	15	15	18	7	4	10	3	18	2	14						
水　　痘		5	－	－	－	－	－	－	－	1	－	3	－	1	－	－						
手 足 口 病		3	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1						
伝 染 性 紅 斑		1	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
突発性発しん		6	－	1	5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		1	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
流行性耳下腺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性角結膜炎		1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市 男女合計	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 0歳	～11ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 1歳-	1歳 1歳 1歳 5歳-	2歳 2歳 2歳 10歳-	3歳 3歳 3歳 15歳-	4歳 4歳 4歳 20歳-	5歳 5歳 5歳 25歳-	6歳 6歳 6歳 30歳-	7歳 7歳 7歳 35歳-	8歳 8歳 8歳 40歳-	9歳 9歳 9歳 45歳-	10歳- 10歳- 10歳- 50歳-	15歳- 15歳- 15歳- 55歳-	20歳- 20歳- 20歳以上 60歳-	30歳- 30歳- 65歳-	40歳- 40歳- 70歳以上	50歳- 50歳-	60歳- 60歳-	70歳- 70歳以上	80歳以上
インフルエンザ (※1)	年齢1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症	年齢3	0.21	0.02	0.02	0.16	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
咽 頭 結 膜 熱		0.16	－	0.02	0.07	0.05	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.23	－	0.05	－	－	0.07	0.02	0.02	－	0.02	－	0.02	0.02	－	－						
感染性胃腸炎		3.86	0.05	0.30	0.74	0.30	0.35	0.35	0.42	0.16	0.09	0.23	0.07	0.42	0.05	0.33						
水　　痘		0.12	－	－	－	－	－	－	－	0.02	－	0.07	－	0.02	－	－						
手 足 口 病		0.07	0.02	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.02						
伝 染 性 紅 斑		0.02	－	－	－	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
突発性発しん		0.14	－	0.02	0.12	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		0.02	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
流行性耳下腺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性角結膜炎		0.10	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.10	－	－	－	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				

※1　インフルエンザは, 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが, 新型インフルエンザのうち, A/H1N1については含む。
※2　細菌性髄膜炎は髄膜炎菌, 肺炎球菌, インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
※3　クラミジア肺炎はオウム病を除く。
※4　感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第20週

週，疾病別報告数　　データ入手日:2022年5月25日

京都市　　男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ（※1）	–	–	–	–	–	–
RSウイルス感染症	–	2	1	–	1	9
咽 頭 結 膜 熱	–	2	5	1	6	7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25	17	23	8	12	10
感染性胃腸炎	86	119	127	94	139	166
水　　痘	6	4	6	4	2	5
手 足 口 病	–	–	2	2	1	3
伝 染 性 紅 斑	–	–	–	2	1	1
突発性発しん	7	4	8	7	10	6
ヘルパンギーナ	6	1	2	–	–	1
流行性耳下腺炎	–	1	1	1	2	–
急性出血性結膜炎	–	–	–	–	–	–
流行性角結膜炎	1	–	2	2	1	1
細菌性髄膜炎（※2）	–	–	–	–	–	–
無菌性髄膜炎	–	–	–	–	–	–
マイコプラズマ肺炎	–	–	–	–	–	–
クラミジア肺炎（※3）	–	–	–	–	–	–
感染性胃腸炎（※4）	–	–	–	–	–	–
合　　計	131	150	177	121	175	209

週，疾病別定点当たり報告数

京都市　　男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ（※1）	–	–	–	–	–	–
RSウイルス感染症	–	0.05	0.02	–	0.02	0.21
咽 頭 結 膜 熱	–	0.05	0.12	0.02	0.14	0.16
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.58	0.40	0.53	0.19	0.28	0.23
感染性胃腸炎	2.00	2.77	2.95	2.19	3.23	3.86
水　　痘	0.14	0.09	0.14	0.09	0.05	0.12
手 足 口 病	–	–	0.05	0.05	0.02	0.07
伝 染 性 紅 斑	–	–	–	0.05	0.02	0.02
突発性発しん	0.16	0.09	0.19	0.16	0.23	0.14
ヘルパンギーナ	0.14	0.02	0.05	–	–	0.02
流行性耳下腺炎	–	0.02	0.02	0.02	0.05	–
急性出血性結膜炎	–	–	–	–	–	–
流行性角結膜炎	0.10	–	0.20	0.20	0.10	0.10
細菌性髄膜炎（※2）	–	–	–	–	–	–
無菌性髄膜炎	–	–	–	–	–	–
マイコプラズマ肺炎	–	–	–	–	–	–
クラミジア肺炎（※3）	–	–	–	–	–	–
感染性胃腸炎（※4）	–	–	–	–	–	–
合　　計	3.12	3.49	4.27	2.97	4.15	4.94

※1　インフルエンザは，鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが，新型インフルエンザのうち，A/H1N1については含む。

※2　細菌性髄膜炎は髄膜炎菌，肺炎球菌，インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3　クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4　感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。